

チームワーク
フットワーク
ネットワーク

麓っ子

令和2年6月10日号
鳥栖市立麓小学校
校長 西川 哲也
Tel. 0942-83-2013
<https://www.education.saga.jp/hp/fumoto-e/>



ホームページ

大雨等の緊急時に備えて



梅雨の時期を迎えました。近年は、昨年の佐賀豪雨をはじめ、度重なる線状降水帯の発生等による突然の雷雨や大雨、洪水などの被害が各地で起こっている状況です。

そういった現状をふまえ、麓小では先日(6/5)、緊急対応マニュアル「**大雨等緊急時の対応について**」を作成し、プリント配布及びマチコミメール、そしてホームページ掲載を通じて内容の周知を図らせていただいたところです。

マニュアルの中には、主に**登校後、子供たちだけによる下校が危険で、保護者の方によるお迎え(全児童の保護者引き渡し)をお願いしなければならない場合**の具体的な約束事をお示ししています。

お配りしたプリントは、いざという時に私たち大人が戸惑うことなく、できるだけスムーズに子供たちの安全を確保するために作成したものですので、いつでも目の届くところに保管していただくとたいへんありがたいです。緊急時には、**すべてマチコミメールでの連絡となります**ので、登録の確認もどうぞよろしくお願いいたします。

マスクしても「笑顔であいさつ」



全員マスクの生活が続いています。相手の表情が分かりにくいので、最初は子供たちも何となく挨拶がやりにくそうでした。でも、慣れてくると、目を合わせて挨拶をしたり、

お辞儀をして挨拶をしたりといった工夫をする子が増えてきました。マスクの下は、きっと清々しい笑顔なんだろうなと感じさせるような明るい口調の挨拶も増えました。登校時には、いつものように運営委員会の子供たちを中心に「あいさつ運動」が行われています。そんな子供たちに元気を貰いながら“コロナなんかには負けるなよ”“暑さなんかには負けるなよ”と心の中で応援している私たちです。

登下校中のマスク着用について



先日、マチコミメールでもお知らせいたしましたが、鳥栖市教育委員会からの助言をいただき、**登下校中は、前後の間隔を十分にとり、他の班と重ならないように必ず一列で歩くことを徹底したうえ**

で、マスクを外して登下校してよいということにしております。これから本格的な夏を迎え、感染症予防と暑さ対策を同時に進めていかなければならない難しい時期に入っていきます。これまで以上に子供たち自身にも適切な行動を判断する力が必要だと感じています。ご家庭でもご指導よろしくお願いいたします。

水泳指導について

麓小では、来週6/19(金)の6年生のプール開きを皮切りに、水泳指導が始まります。

新型コロナウイルス感染予防対策としまして

では、3密を避けるために更衣は場所を分けて少人数で行うと共に、複数のクラスが同時に1つのプールに入ることがないように時間割の調整を行いました。(大プールに上学年、小プールに低学年が同じ時間に使用することはあります。)

また、**熱中症予防対策**としましては、PTAのご協力により、プール及びプールサイドに遮光ネットを取り付ける予定です。このことで、水温の上昇や日焼け、児童及び職員の体力の消耗を防ぐ等の様々な効果が期待できると考えています。

なお、昨年度の学校評価アンケートの中に「プールから校舎までの通路ができないものか。」といったご意見をいただいております。これは、プール入り口から体育館までの日にさらされる部分が熱く、裸足での移動がかわいそうというご配慮からのご意見だと理解しております。このことにつきましては、子供たちにサンダル等を履かせることを徹底することで対応したいと考えております。まずは、遮光ネット設置を優先しますことをご容赦ください。

一つ、気になっていることがあります。それは今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、家庭訪問が実施できず、更に3密を防ぐということで校医による検診が2学期以降に延期されたので、もしかしたら、お子様一人一人の健康面の状況把握が不十分なのかもしれないということです。担任は、家庭調査票(通学調べ)や保護者の方からの個人的なご連絡等で、ある程度の把握はしておりますが、**水泳指導がスタートするに当たり、もしもお子様の健康面で特に配慮すべきことなどがありましたら、遠慮なく担任へお知らせください**ますようお願いいたします。

「避難訓練」を実施しました



6/5(金)には、火災及び地震を想定しての避難訓練を行いました。

まず地震発生の際の校内放送を受け、子供たちは、先生の指示に従いながら上手に机の下にもぐり込みました。そして次は、

火災発生です。本来なら全クラスが避難経路を確認しながら一斉に運動場に避難するのですが、ここでも3密回避の手立てがとられました。各学年の1組は1時間目、2組は2時間目、3組は3時間目といった具合に時間を分け、「お・か・し・も」の約束を守りながら、静かに避難経路の確認を行うことができました。